



# 母子家庭を元気にする 野外活動の機会提供事業

— 2015年度 活動報告書 part.3 —

# 母子家庭を元気にする 野外活動の機会提供事業

## 「事業概要」

シングルマザーが体力・経験・経済の3点から子どもに対して野外活動の機会をつくる事が難しいという現状に対して、母子家庭家庭支援 NPO と野外活動 NPO がお互いの専門性を相互共有しながら「定期的に母子家庭の子ども向けに野外活動の機会を提供する」ことで、子どもたちの健やかな成長を促すとともに母親の1人の時間をつくる事での苛つき軽減と虐待防止に寄与する為の事業をおこなうものです。

## 「活動への想い」

森のライフスタイル研究所は、2003年に設立されたNPO団体です。これまで、植林や間伐等の森づくりプログラムや森林や湖畔での自然体験キャンプ、昆虫採集などたくさんの野外活動に取り組んできました。2014年4月これまでのノウハウを活かして、母子家庭の子どもたちがより積極的に野外活動に参加できるように支援を始めました。

NPO法人 森のライフスタイル研究所  
代表理事 所長  
竹垣 英信

## 野外活動は子どもの成長を 促してくれます。

野外活動は子どもの成長に関して言語能力や認識能力、知能指数が向上するという好影響を与えられています。また、野外での様々な体験を通じて新しい事を体験し、それが出来るようになれば、自信が生まれ、それらの経験の蓄積によって、成功や失敗というもののが実は自分の努力次第という事に気づいていきます。結果、他人のミスや失敗を理解できる人間性が形成され、豊かな人格を育てていきます。



## 野外で活動が続けてきたからこそ出来ます。

女性であるお母さん。男性に比べれば体力も少ないですし、野外活動の経験もきっと少ない事と想像されます。国（厚生労働省）は「子育て・生活支援」「就業支援」「養育費確保支援」「経

済的支援」の4本柱により母子家庭等へのサポート施策を推進していますが、野外活動とつなぐ支援は含まれていません。私たち森のライフスタイル研究所は、これまで植林や間伐等の森づくりプログラムや自然体験キャンプ、昆虫採集など野外での活動を数多く実践してきました。私たちだからこそ出来る、「野外活動を通じた支援」があると信じています。

## お子様を預かります。

森のライフスタイル研究所が行う野外活動は、バスを借りて遠足のようにみんなで出掛けるスタイルが特徴です。集合場所までお子様を連れてきていただければ、あとはお任せ下さい。スタッフが帰りの到着まできちんと対応していきます。野外での活動になるので、時には怪我をするかもしれません。その場合、活動に同行する救急救命士などの救護スタッフが適切に対処いたします。お母さんは、1人になった時間を有意義にお使いください！もちろん、活動にご一緒いただく事も大歓迎です。





## 母子家庭の支援団体と連携しています。

森のライフスタイル研究所は、母子家庭の支援を日常的に行っている団体と連携して活動を進めます。お互いの専門性を相互共有していく事で創意工夫に溢れる活動が実現します。2つの分野の団体が手を取り、支え合いながら、子どもたちが成長していく姿を見守っていきます。

## 負の連鎖を断ち切りたい

子ども時代に野外活動を行った経験が多いほど、学歴や年収が高い事が国立青少年教育振興機構の調査で明らかになっています。母子家庭で育つ子どもたちに野外活動の機会を継続的に提供していく事で、「負の連鎖（＝貧困・格差拡大）」を断ち切る事にも貢献していきます。



## 参加者の声

OMさん

一度、子どもと一緒に苗木を植えてみたかったので、実現できて嬉しかったです。

KMさん

活動に参加させていただくたびに、子どもの成長が感じられます。男性のスタッフと接することで、大人の男性とのコミュニケーションの取り方の勉強になっているようです。

THさん

活動に参加してもらった後の子どもがやさしく私に接してくれます。外でちゃんと遊ばせるのって大切ですね。

AMさん

子どもに初めてのスキーを体験させることができ、感謝しております。安価な参加費もありたく、支援してくれている団体さんにもお礼を言いたいです。

HYさん

こんなことを言ったらおかしいですが、森ライの活動に参加できると、シングルになって、良かったなと思ってしまうこともあるんです。



# 冬のワクワク！はじめてのスキー体験教室。 自分のチカラでできるかな？

〔開催日〕 2015年12月27・28日 〔場所〕 山梨県南都留郡山中湖村・静岡県裾野市須山（スノータウンイエティ） 〔参加人数〕 31名

今回は、このツアー始まって以来のお泊まり企画！山中湖のペンションに泊まり、翌日は静岡県裾野市にあるスノータウンイエティでスキー体験です。総勢31名の一行で貸し切りのペンションではしゃぎ、スキーで転んで泣いて、そり遊びで歓声をあげた二日間。カオスな時間帯もありましたが、日ごろ東京ではできない体験を満喫して、2015年を締めくくる、にぎやかなイベントになりました！

## 2015年を締めくくるイベント！

宿泊先のペンションに到着。バスを降りるとひんやりとした空気が頬を刺すようです。貸し切りのペンションで、部屋を割り振られ、お泊まり会のムードにテンションが上昇するちびっこたち。ロビーとダイニングで、パチパチ音を立てている薪ストーブに和むお母さんたち。一息ついたら希望に応じて二手に分かれ、クラフト組はお正月にぴったりな和風リースづくり、アクティブ組は体育館に移動してボール遊びです。ほとんどのお母さんはクラフト組で、子どもたちを送り出します。

## お正月を彩る、世界にひとつだけのお飾り

クラフト組は、気さくな女将のご指図の下、用意されたたくさんの材料をそれぞれの好みで選び出し、リースをこしらえていきます。カラフルで華やかなリース、シブくて粋なリース、「センスがバレル！」「子どものほうが上手い！」と笑い合いながら、個性豊かに完成しました。できあがれば、どれも素敵で、ちゃんと飾れるレベルです！出来映えには全員が、おおよそ満足だったようです。壊れないよう大事に包んで持ち帰りましょう。



## 体育館でボール遊び！

一方のアクティブ組、体育館で元気いっぱい走り回っていました。ドッジボールでエキサイト！体育館には、元気な声と弾むボールの音が響きわたります。薄着でも「寒くない！」と張り切るちびっこのエネルギーには、



竹垣隊長をはじめ、スタッフもついていくのが大変！たくさん体を動かしてお腹を空かせ、おいしい夕ご飯をいっぱい食べようね。

## お泊まり会のムードが盛り上がります

お泊まりなので、ゆったり気分のお夕食。テーブルにはたくさんのお皿が並んでいました！大人数の食卓は、会話が弾みますね。あたたかい時間が流れます。お腹いっぱい食べて、お風呂に入って、薪ストーブの前で、引き続きおしゃべりに花を咲かせるお母さんと、いろんなお部屋に訪問してはしゃぐ子どもたち。夜はゆっくりと、更けていきました。明日はいよいよスキーですよ！



- ・スキー体験
- ・自然散策
- ・木工作
- ・情報交換（お母さん同士）

## いよいよ銀世界に到着！

朝は、ちょっと早起き！朝ご飯もしっかりいただいて、ペンションをあとにします。一路スノータウンイエティへ！スキーを教えてくれるのは、森ライとパートナーシップを組む、富士山アウトドアミュージアムのスタッフのみなさんです。事前にレンタルの手配をしていたスキーウェアに着替え、スキー板と靴を受け取って、レッツスキー！…とは言ってみたものの、半分以上が初心者です。そのように軽快に滑り出すはずもありませんでした。



## スキー体験は、波乱…！？

波乱のスキー体験の幕開けです。準備運動のあと、まずは転んで起き上がる練習。ここですでに、泣き出す子どもがちらほら。「大丈夫でしょ。ほら、足をこっちに」お母さんの声がけにも「ギャー」と泣きます。駆けつける先生が間に合わないくらい、あっちで転び、こっちで転び。小さな子どもたちは「寒いー！」「冷たいー！」と泣きやみません。次第にカオスの様相さえ感じられましたが、なんとか少しずつ練習。一方、経験者は颯爽と滑り降りていくのでした。

## 結果オーライ！楽しい二日間でした

それでもお昼ごはんはロッジでカレーを食べたら、再チャレンジを誓うたくましいちびっこたちです。中には「いや、僕はもういい」という子もいたので、その場合はそり遊びに変更です。再チャレンジ組は、午前中よりうんと調子を上げたようです。そり遊び組はそり遊び組で、すっかり楽しんでいましたよ。この日ぐっすり眠れない子はいないでしょう！大人ももちろん、ヘトヘトでーす！年末のこの二日間が、どうかどうか、いい思い出になりますように！また来年ね。



# みんなで仲良く苗木を植えてみよう！ お楽しみは、いちご狩りだよ。

〔開催日〕 2016年2月21日 〔場所〕 千葉県山武市 蓮沼殿下海岸 〔参加人数〕 37名

今回は、総勢37名で千葉の蓮沼殿下海岸林、クロマツの植林です。東日本大震災の津波により被災した海岸林を再生する活動に、ちびっこも貢献します。大人のようにははかどりませんが、植林する理由をきちんと理解して、ママやお友だちと一緒に頑張ります。植え終えたらみんなで九十九里浜へ！波打ち際で波と追いかけてこしたり、砂浜に水路？をつくったり、貝殻を拾ったり、飽きることなく遊びました。そして午後からは、うれしいいちご狩り！楽しかったね。

## みんなで仲良く植えました

活動場所に到着し、スコップを渡された先から、地面を掘り出すちびっこ数名。かつて公園の定番だった砂場も減って、都会では掘ったり埋めたり遊びをする場所は、少ないのかもしれませんが。最初に、竹垣隊長からなぜ植林が必要なのか、海岸林はどのように役立ってきたのかの説明をします。子どもたちなりに理解して、やる気になっている様子です。この日参加したのは、小学生を中心に、下は3歳から上は高校生まで。それぞれの思いを胸に苗木を植えます。辺りには、森ライがこれまでの活動で植えてきたクロマツが、大きなものだと竹垣隊長の背丈ほどに成長しています。丁寧に植えて、踏み固め、きちんと育ちますように。



## 2月の九十九里浜、 波打ち際で大はしゃぎ！

植林が終わったら、海まで歩きます。水はまだまだ冷たいけれど、海は子どもをワクワクさせます。思い思いにいろんな遊びをあみ出して、みんな夢中。うっかりしていると靴もズボンも水浸しです。あたたかな日で良かった！駆け回り、砂まみれになり、ママに着替えさせてもらいます。海は初めてだという子もいました。とりわけシングルマザー家庭では、遠出がむずかしいケースが少ないのです。さて、そうこうしているうちに、お腹がグーと鳴りました。近隣のホテルでカレーライスのお昼ごはん。「食べすぎるといちごが入らなくなっちゃうよ！」と、気にする大人たち。とはいえ、たくさん動いたから、いっぱい食べました。

- ・植林体験
- ・森林学習
- ・いちご狩り
- ・情報交換（お母さん同士）

## 夢の、いちご食べ放題

ごはんのあとは、バスでいちご農園へ。貸し切りのビニールハウスには、「やよいひめ」という品種のいちごが、みんなを待っていました。大粒なものが多く、中には子どものこぶしほどもあるものもあり、しばし大興奮！大きなお口でかぶりつきます。そして、「おいしい！」と口々に。しばらくすると、食べ比べて学んだ成果か、「ちいさめのがおいしいよ」「先っぽのほうが甘いよ」と、グルメ発言も飛び出します。甘い香りに包まれて、ママも幸せです。休憩を挟んで再トライする子もいましたが、何粒食べられたかな。



## お買い物して、帰途に着きます

すっかりお腹いっぱい、いちご農園をあとにします。途中、お得な新鮮野菜が豊富な道の駅「オライはすぬま」に寄りお買い物。森ライのツアーでは、できるだけこうしたお買い物タイムを設けるようにしています。土地土地に特徴のある農産物や加工品に触れるのは楽しいことですね。また、買い物をすることで、訪れた地域の経済にちょっぴり貢献できます。東京のお隣の県なのに、元気でおもしろそうな野菜がいっぱいで、ママたちも買い込んでいましたよ。笑顔の一日を終え、バスでスヤスヤ。今日が初参加の子も、また待ってるね！



開催日	場所	アクティビティ	参加人数
2015/12/ 27・28	山梨県南都留郡 山中湖村 静岡県 裾野市須山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキー体験</li> <li>・自然散策</li> <li>・木工作</li> <li>・情報交換（お母さん同士）</li> </ul>	31名
2016/2/21	千葉県山武市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植林体験</li> <li>・森林学習</li> <li>・いちご狩り</li> <li>・情報交換（お母さん同士）</li> </ul>	37名

